

平成27年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 有機生活マーケットいちのリーフレット作成

団体名 いち実行委員会 担当者名 高橋 真一

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

有機生活マーケットいち

開催日時 毎月第3日曜日 10:00~16:00 (H27年12月のみ10:00~15:00)

H27年 4月19日、5月17日、6月21日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日

H28年 3月20日 開催予定

開催場所 西川緑道公園 野殿橋周辺（桃太郎大通りより西川緑道公園沿いを南へ歩いてすぐ）

有機栽培、無農薬、減農薬などこだわりの食材や、身体にやさしいFOODのお店が約30店集まります。会場内にはゴミ箱はありません。リユース食器や環境に配慮した食器を使用します。マイバック、マイ食器の持参も呼びかけ、過剰包装もしません。電力の使用は最小限に。各お店が工夫を凝らして出店しています。



2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ
<p>リーフレット作成について</p> <p>①有機生活マーケットいちが伝えたいことを記載した。「3. 11以降の新しい暮らし方を考える」</p> <p>②環境に配慮した運営に心がけている点を記載した。ゴミ箱の設置無。リユース食器の使用。マイバック・マイ食器持参の呼びかけ。過剰包装無。</p> <p>③極力小さいサイズに収まるようにデザインを配慮した。(紙を過剰に使わないように)</p>
3. 取組の成果 (参加者の変化、感想など)
<p>実行委員会内で、話し合いを重ねたことで、これからのマーケットの方向性が固まりました。以下のことが実行委員会内の共通認識としてまとまったことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケットはイベントではなく、日常生活に溶け込むべきもの。継続が必要 ・なんでもありのマーケットではなく、コンセプトを明確にすること ・ルールを守れてコンセプトを共有できる出店者さんを集めること ・実行委員会内で出たアイデアを恐れず実験できる場であること <p>3月の有機生活マーケットいちでは、実行委員会メンバーの案で新しい企画を実施します。リーフレットはまだお客様には手渡せていないため、今後の反応を見えます。</p>
4. 今後の課題と展望
<p>①有機生活マーケットいちを継続させていくこと</p> <p>人々のライフスタイルの変化のきっかけを提案しているので、人々の日常に溶け込むことが目標。イベントではなく日常の風景として継続していくことが大切。運営のシンプル化は委員会内で検討しながら継続しやすい方法を探ります。行政担当課とは、公園の使い方協議する必要があります。(規制事項の緩和、搬入搬出時の道路の使用方法等)</p> <p>②プロモーションの拡大</p> <p>H28年2月29日に立ち上がった「おかやまマルシェ協会」に加入したことで、他のマルシェやマーケットと連携してプロモーションが可能となりました。岡山の街の週末＝各地でマルシェが開催されている、ということを広く告知することが可能になります。各マルシェの存在を知ってもらうために、連携して取り組んでいきます。</p> <p>③地域づくりへの参加としてのマルシェ</p> <p>マルシェはまちの賑わいが目に見えます。主催者・出店者としては直接的に、スタッフとしては間接的に、お客様としては部分的に地域づくりに関われる場となります。そのような場がもっとたくさんできることが持続的なまちの賑わいの一つの要素となると考えられるので、マルシェ立ち上げ等のノウハウ移譲をしていくことも考えています。</p>